アマゾンウェブサービスを使用したサイト間VPN

目的

この記事の目的は、Cisco RVシリーズルータとAmazon Web Servicesの間でサイト間VPNをセットアップする方法を説明することです。

該当するデバイス |ソフトウェアバージョン

RV160| 1.0.00.17

RV260|1.0.00.17

RV340| 1.0.03.18

RV345| 1.0.03.18

概要

サイト間VPNでは、複数のネットワークに接続できます。これにより、企業および一般ユーザは異なるネットワークに接続できます。Amazon Web Services(AWS)は、AWSプラットフォームにアクセスできるサイト間VPNなど、多くのオンデマンドクラウドコンピューティングプラットフォームを提供します。このガイドは、RV16X、RV26X、RV34Xルータのサイト間VPNをAmazon Web Servicesに設定する際に役立ちます。

次の2つの部分があります。

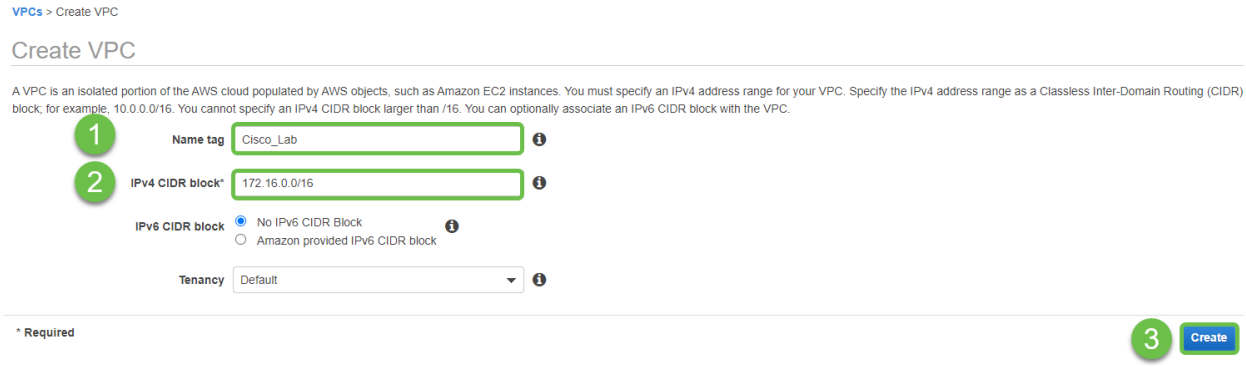
アマゾンウェブサービスでのサイト間VPNのセットアップ

RV16X/RV26X、RV34Xルータでのサイト間VPNの設定

アマゾンウェブサービスでのサイト間VPNのセットアップ

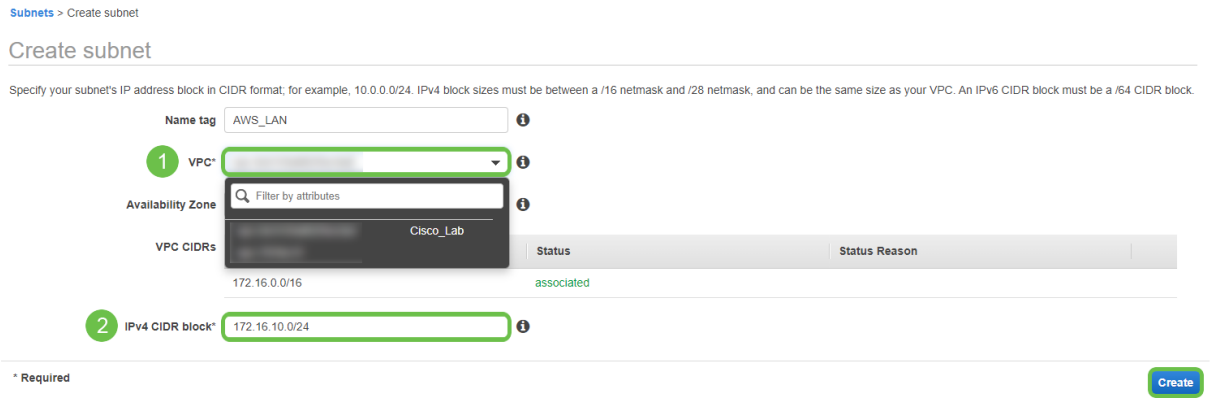
手順 1

IPv4 CIDRブロックを定義する新しいVPCを作成し、後でAWS LANとして使用するLANを定義します。「作成」を選択します。



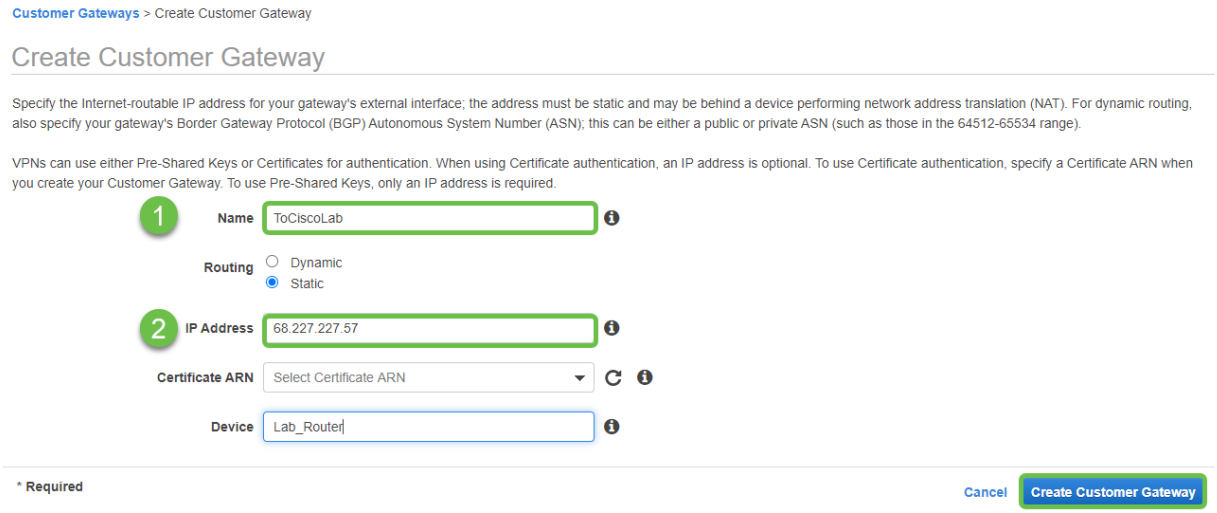
手順 2

サブネットを作成する場合は、以前に作成したVPCを選択し**ていることを**確認します。前に作成した既存の/16ネットワーク内のサブネットを定義します。この例では、172.16.10.0/24が使用されています。



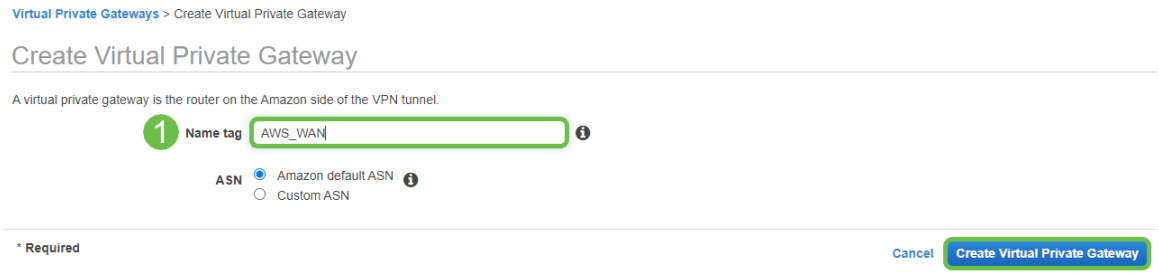
手順 3

お客様のゲートウ**ェイを作成**し、IPアドレスを*Cisco RVルータのパブリックIPアドレス*として定義します。



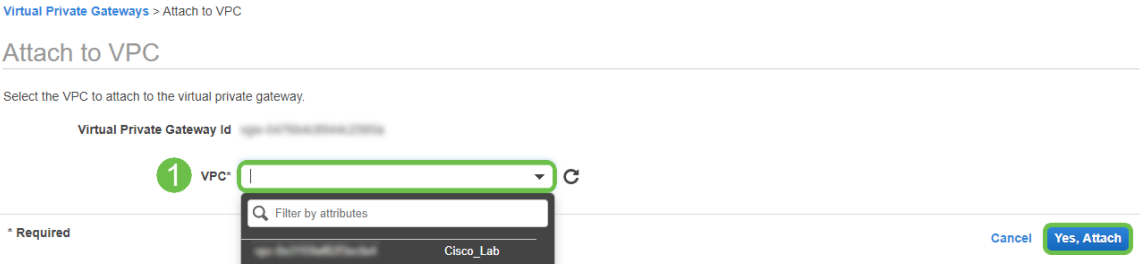
手順 4

バーチャルプ**ライベートゲート**ウェイの作成 – *後で*識別するのに役立つ名前タグの作成



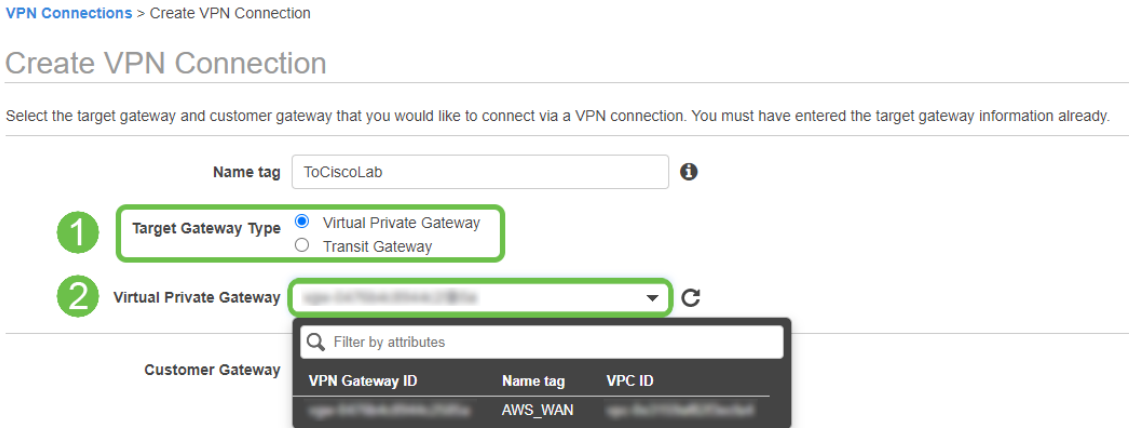
手順 5

仮想プライベート**ゲートウェイを前に作成**したVPC**に接続**してください。



手順 6

新しいVPN接続を作**成し、[Target Gateway Type** Virtual Private Gateway]**を選択**します。VPN接続を前**に作成した**仮想プライベート**ゲートウェイに**関連付けます。



ステップ7

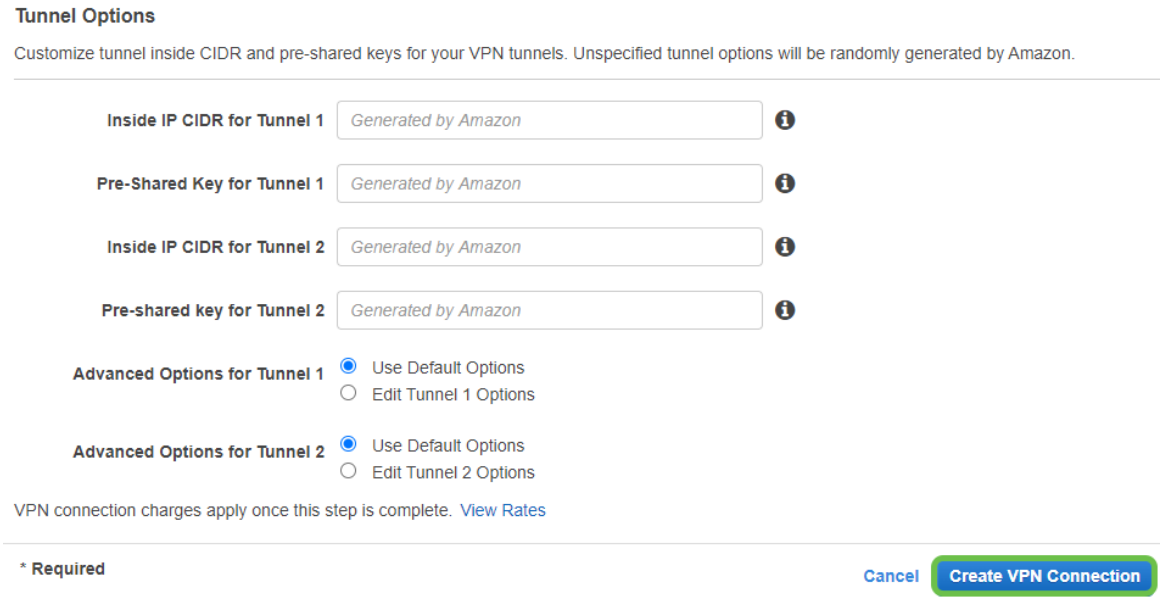
「既存の顧客ゲートウェイ」**を選択します。**以前に作成した**カスタマーゲートウ**ェイを選択します。

手順 8

[ルーティング**オプション]で**、[静的]を必ず選択してください。VPNを通過する**予定のリモートネットワークのCIDR表記を含む任意のIPプレフィックスを入力します。**[これらはCiscoルータに存在するネットワークです。]

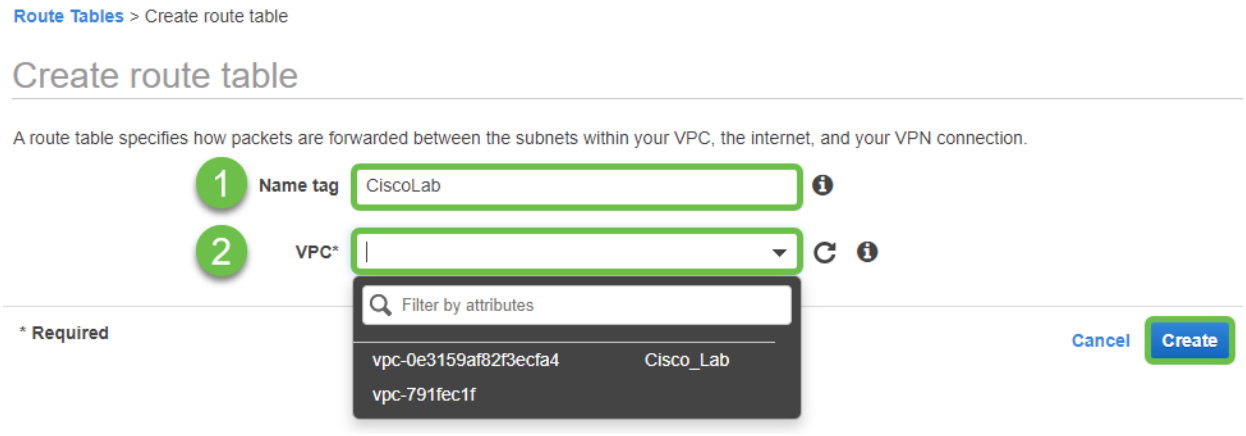
手順 9

このガイドのトンネルオプション**は取り上げま**せん。*Create VPN Connection*を選択してください。



手順 10

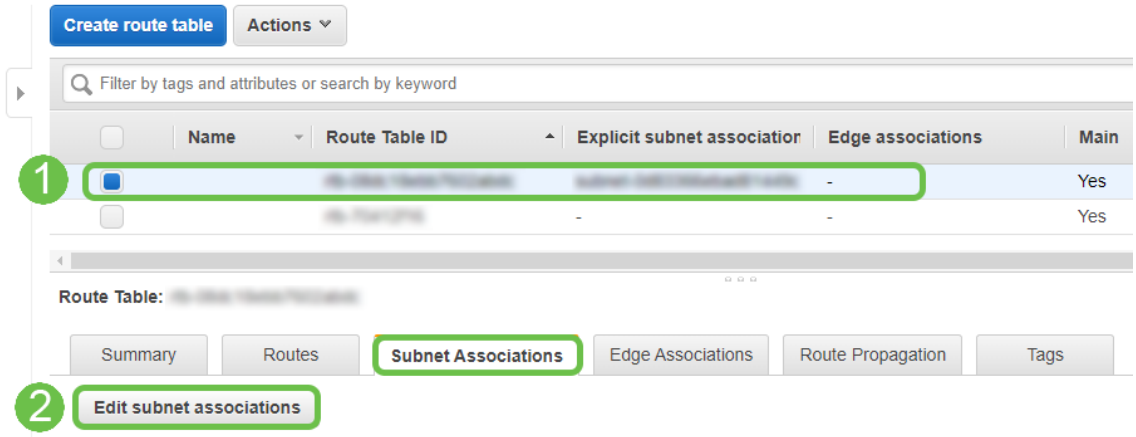
ルートテーブル**を作成**し、以前に作成した**VPCを**関連付けます。[作成]**を押します。**



手順 11

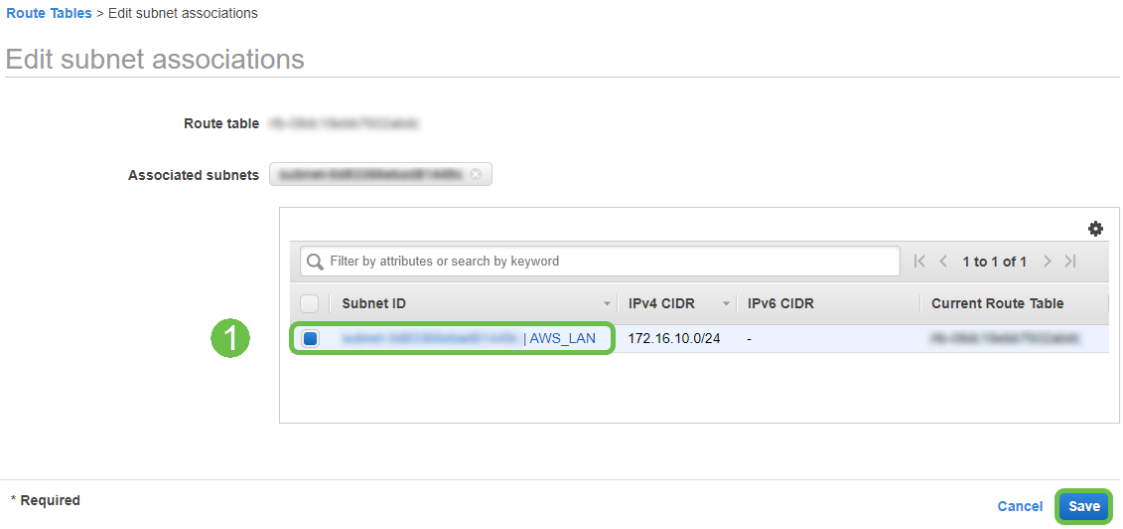
前に作成したルート**テーブル**を選択します。[サブネットアソシ**ョン]タブで**、[サブネットアソシ

エーション*の編集]を選択します。*



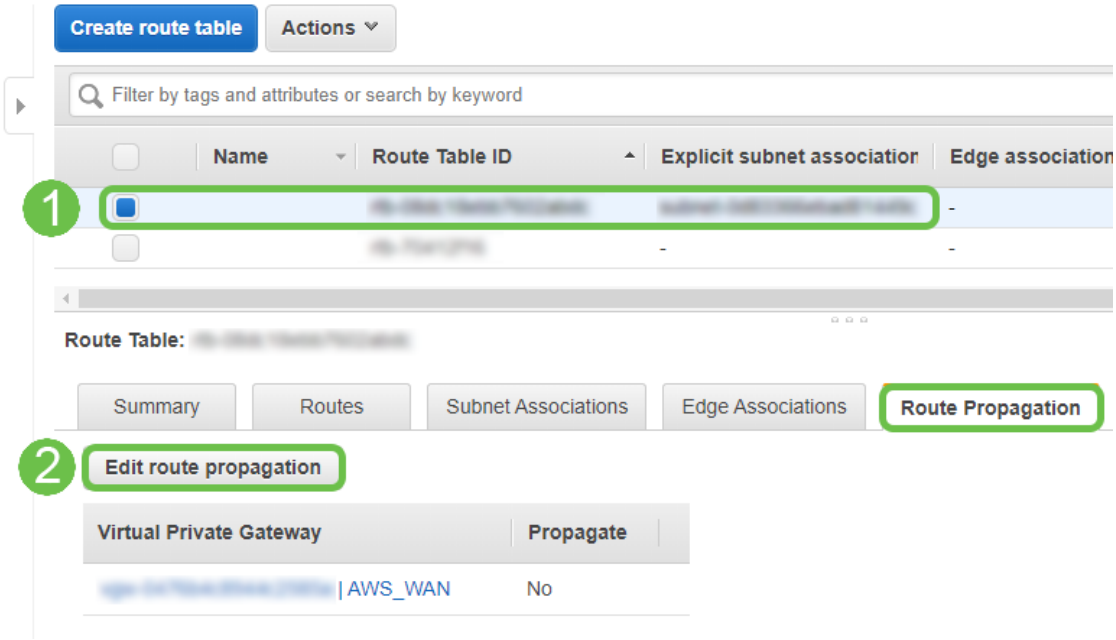
ステップ 12

[サブネットの関連付**けを編集]ページ**で、以前に作成したサブネットを選択します。前に作成した**ルートテーブル**を選択します。次に、[保存]を選択**します。**



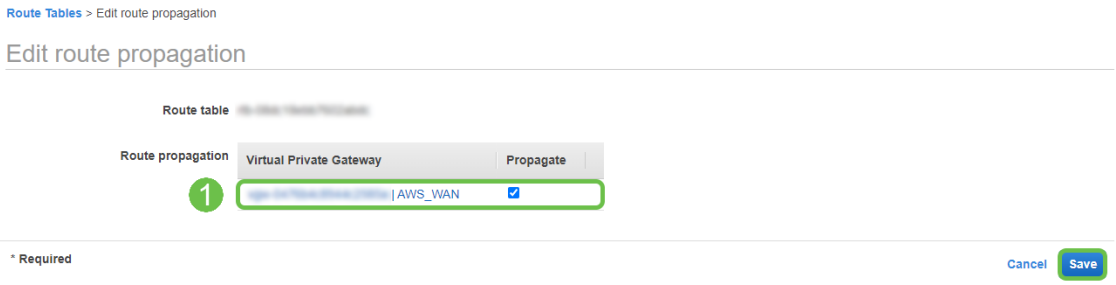
手順 13

[Route Propagation]タブで、[Edit route propagation]を*選択します。*



ステップ 14

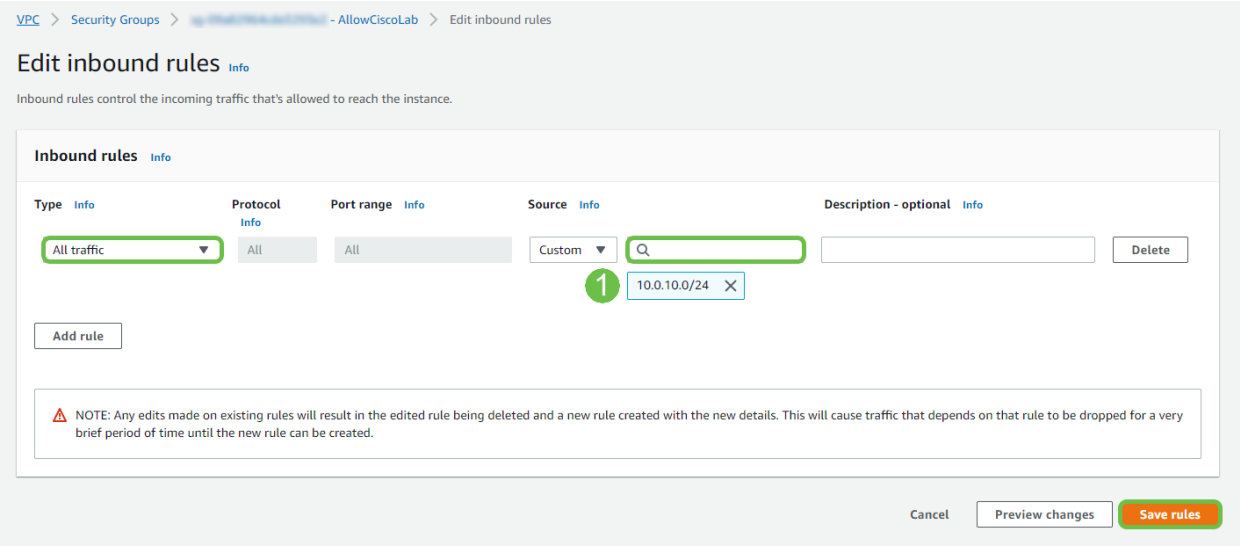
以前に作成したVirtual Private Gatewayを選択します。



ステップ 15

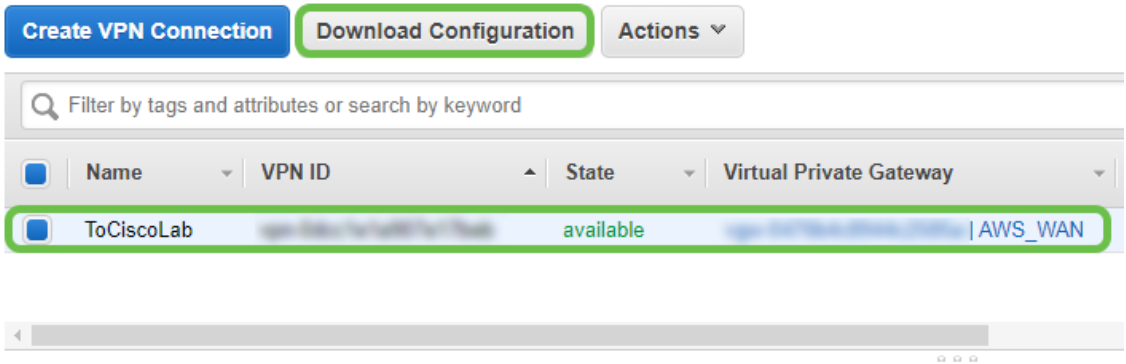
[VPC] > [セキュリティグループ]で、目的のトラフィックを許可するポリシーが作成されていることを確認します。

*注：*この例では、10.0.10.0/24の送信元を使用しています。これは、この例のRVルータで使用されているサブネットに対応しています。



ステップ 16

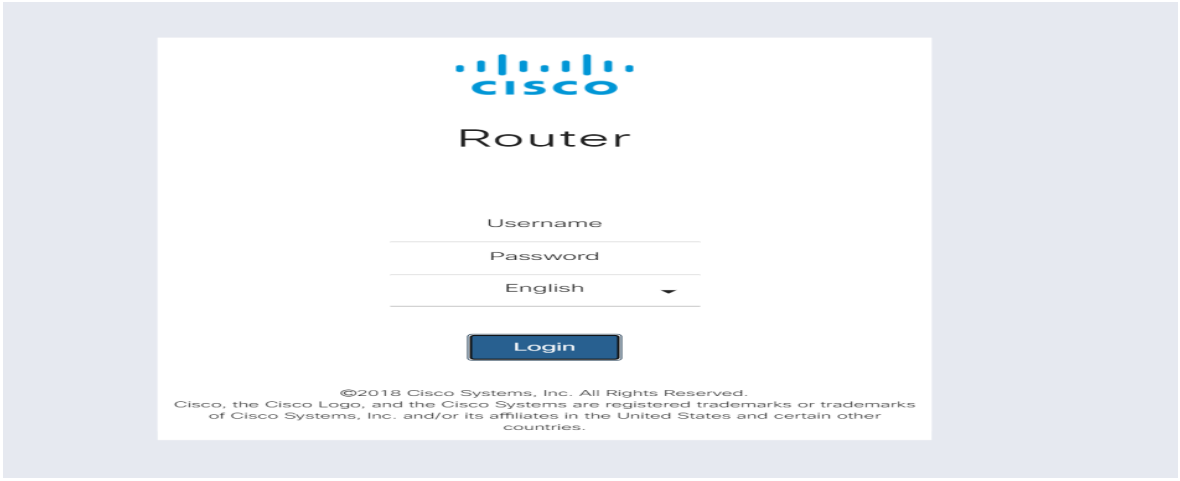
以前に作成したVPN接続を選択し、[*Download Configuration*]を選択します。



RV16X/RV26X、RV34Xルータでのサイト間の設定

手順 1

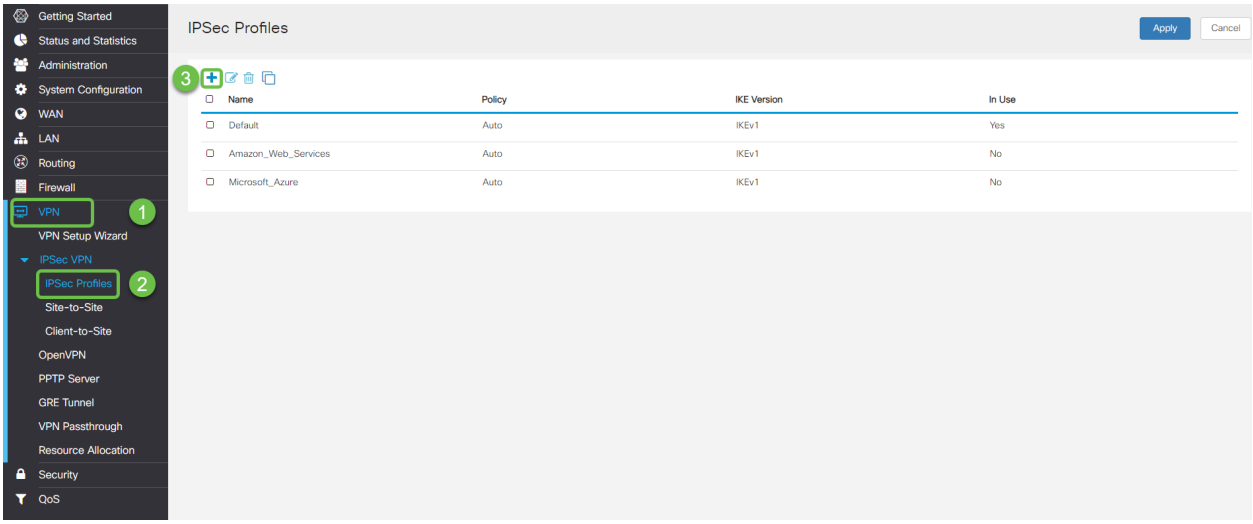
有効なクレデンシャルを使用してルータにログインします。



手順 2

[VPN] > [**Ipsec Profiles]に移動します。**これにより、Ipsecプロファイルページが表示され、追加

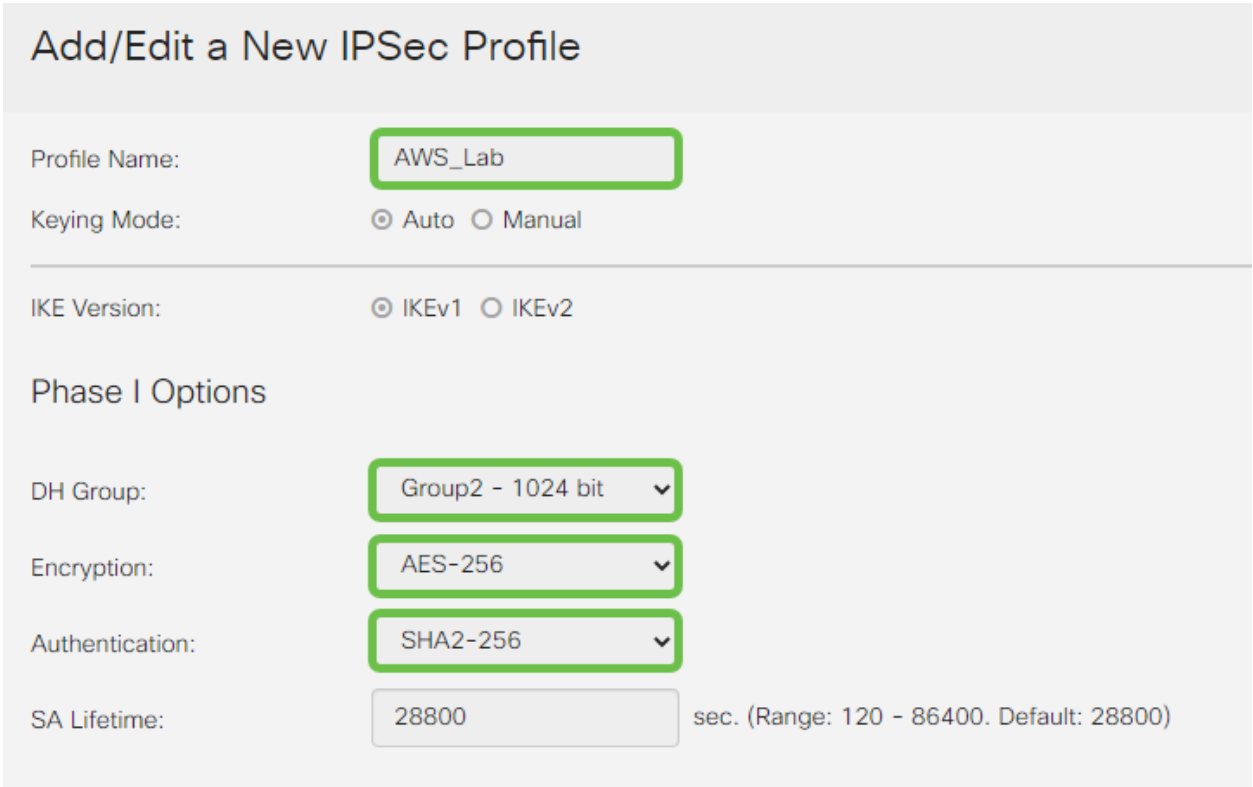
アイコン(+)を押します。



手順 3

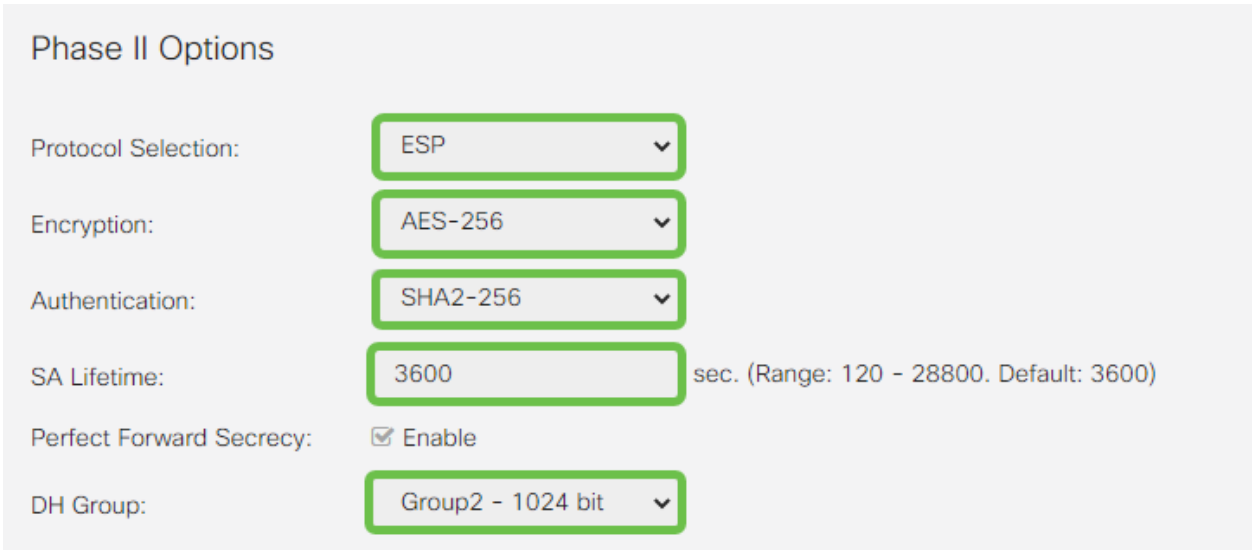
次に、IPSECプロファイルを作成します。Small BusinessルータでIPsecプ**ロファイルを作成**する場合は、フェーズ1に対して[**DHグループ**2]が選択されていることを確認します。

注：AWSでは、低レベルの暗号化と認証がサポートされます。この例では、AES-256とSHA2-256が使用されます。



手順 4

フェーズ2のオプションが、フェーズ1で行ったオプションと一致していることを確認します。AWSの場合、DHグループ2を使用する必要があります。

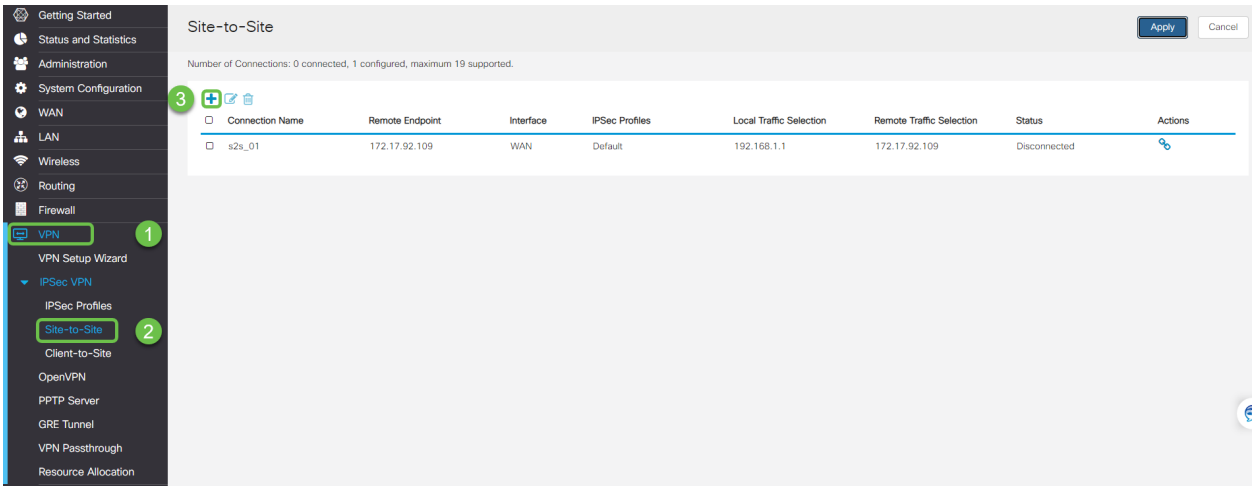


手順 5

[適用]を押すと、IPSECページに移動します。必ず[適用]をもう一度押してください。

手順 6

[VPN< Client to site]に移動し、クライアントからサイトへのページでプラス(+)アイコンを押します。

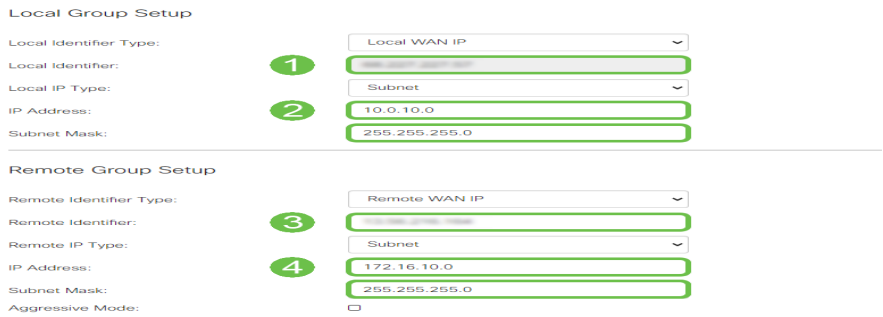


ステップ7

IPsecサイト間接続を作成する場合は、前の手順で作成したIPsecプロ**ファイルを**選択してください。リモートエンドポイ**ントのタイプ**を[静的IP]に設定し、エクスポートされたAWS構成で指定されたアドレスを入力します。AWSからエクスポー**トされた構成で**提供される事前共有キーを入力します。

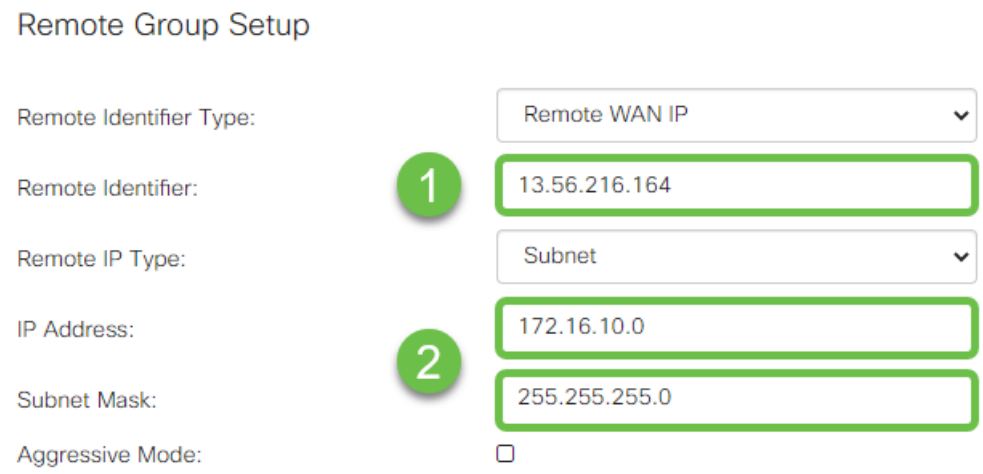
手順 8

Small Businessルータ**のローカル**識別子を入力します。このエントリは、AWSで作成された**Customer Gatewayと一致する**必要があります。Small BusinessルータのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。このエントリは、AWSの**VPN Connectionに追加された静的IPプレフィクス**と一致する必要があります。Small BusinessルータのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。このエントリは、AWSの**VPN Connectionに追加された静的IPプレフィクス**と一致する必要があります。



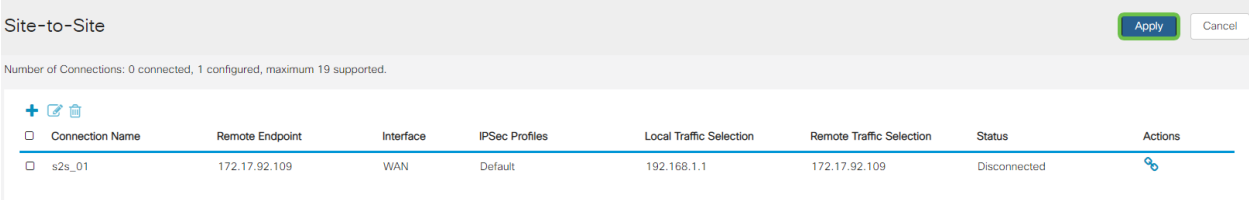
手順 9

AWS接続の**リモート**識別子を入力します。これは、AWSサイト間VPN接続のトンネルの詳細の下に表示**されます**。AWS接続の**IPアドレスとサブネ**ットマスクを入力します。AWS接続はAWSの設定中に定義されました。次に、[Apply]を**押します。**



手順 10

[Ip Site to Site]ページで、[**Apply**]を押**します。**



結論

これで、RVシリーズルータとAWS間にサイト間VPNが正常に作成されました。サイト間VPNに関するコミュニティディスカッションについては、Cisco Small Business Support Communityページに移動し、サイト間VPNを検索してください。